

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		観光型ホテル（総支配人）	・予約の集客状況は前年同期比で105%と好調に推移している。好調な個人旅行に加え、企業のインセンティブ（報奨）旅行の予約が増えている。楽観はできない現状ではあるが、夏に向け景気回復基調による旅行マインド上昇を感じる。
		旅行代理店（代表取締役）	・同業他社の集客状況を見ても各社善戦している。春先は県内でのイベントも多く、これから景気は良くなる。
		通信会社（店長）	・子ども手当や高速道路料金無料化などの景気回復策が良い方向に影響して、市場が活性化し消費が増えることを期待している。
	変わらない	通信会社（サービス担当）	・携帯電話の機能が進化しており、キャリアもユーザーを囲いこむためにいろいろなサービスを出してきており、緩やかに伸びていく。
		百貨店（営業担当）	・公立高校の授業料無償化や子ども手当の実現などの施策こそあるものの、企業業績が回復に至らない分、給与所得そのものの縮小も懸念され、消費の拡大に期待感を抱くまでには至らない。
		スーパー（企画担当）	・米や肉などの一部カテゴリーの落ち込みが激しく、先行きが読めない状況が続いている。1点単価の落ち込みが主たる要因である。関連販売の強化など対策を取るが思うような効果が得られない。必要なもの以外は買わない傾向が強いように感じる。
		スーパー（販売企画担当）	・前年比でマイナスという状況がずっと続いているなかで、景気回復になるような明るい材料は無く、厳しい状況がまだ続く。
		コンビニ（経営者）	・客は必要な分だけしか買わないし、ぜいたくな生活をする人が少なくなっている感がある。切り詰めた生活に慣れて無駄な買物をしなくなったものと推測される。
		コンビニ（エリア担当）	・客の購買意欲も今が底だと感じるが、今後回復する要因も無い。低価格路線が続き、客単価低下による売上減少傾向が今後も続く。
コンビニ（エリア担当）		・急激な回復は無い。6月の子ども手当支給以降の動向を注視していきたい。	
衣料品専門店（経営者）		・買上客数が少ない状態が続いている。全体としてこれといった強い材料が見えない。色々な部分から様子を見たい。	
やや悪くなる	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・相変わらず売上が減少しており、人員削減や給与の削減など、更なる経費の見直しやシステムの改善、新商品の開発などを図る。しかし、更に環境が厳しくなると、対応していけるか不安である。	
	観光名所（職員）	・国内景気は厳しい状況にあり、当面景気が回復に向かう気配は見られない。県外からの入域観光客数に頼る沖縄観光は、厳しい状況が続く。	
	ゴルフ場（経営者）	・低単価の集客は依然、各ゴルフ場で続いており、ゴルフ場により体力の差が出てくる。営業策のネタが無いので、景気が良くなるまで待てず、経営が困難になるゴルフ場も数年先には出てくる恐れもある。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	・相次ぐ雑誌の休刊や出版社の倒産など、出版業界に明るい兆しは見えない。雑誌のネット配信などが検討されているなかで、書店業界は次の一手が打てずにいる。唯一好調なのがファッションブランドの付録付き雑誌で、どこまで売上などをけん引できるか若干の期待はあるが、そう長くは続かないかもしれない。	
悪くなる	商店街（代表者）	・商店街はほとんど観光客関連の店に変わっていて、客の前年割れ状態が相当起こっている。一般的な買回り品については、周辺の大型店で買う客が多くなっている。新型インフルエンザの余波もあり、全体的に観光客が減少しているなか、消費低迷も手伝って、大変苦戦をしている。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・低価格志向はこれからも続くが、仕入の問題、外商などの営業活動の拡大により、慢性的な人手不足でスタッフの負担がどんどん大きくなっている。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（管理部門）	・受注量が増える見込みである。
		建設業（経営者）	・新築を予定している客と現在打ち合わせをしており、契約が更に見込まれる。

変わらない	輸送業（代表者）	・季節要因を除いては堅調に推移するが、環境面に配慮して4月から強化される生コンクリート規格の影響が懸念される。	
	通信業（営業担当）	・今後の受注案件について、情報は入っていない。	
	広告代理店（営業担当）	・県内企業の次年度販促予算計画がほぼ固まりつつある状況を踏まえると、増額見込み企業が皆無と言っても過言でないのが現実である。	
	会計事務所（所長）	・建設関係も公共工事から民間工事へのシフトが重要であるが、現在の景況では大型の民間受注の見込みは薄い。	
やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共、民間共に工事受注が減少する見通しである。	
	輸送業（営業担当）	・前月に引き続き物流に関する業務委託解約や委託金額の見直しなどが発生し、非常に厳しい状況である。新規受注業務においても受注額が低く、顧客が景気低迷のあおりを受けていることの影響が出ている。更に、追い討ちで燃料高騰に伴い海上運賃が徐々に上がってきている。	
	コピーサービス業（営業担当）	・コピー機の性能も良くなっているため、公共機関が印刷ではなく、データのための納品やコピーで済ませている。	
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（総務担当）	・景気感はまだまだ「悪い」状況だが、今年に入り徐々に求人件数が増加傾向にあるので多少なりとも上向きになる。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・観光シーズンに突入し、ホテル、観光施設、観光客をメインターゲットにしたショップ、飲食店のアルバイトの求人が増える。求人広告数は今年に入り前年以上の数字を維持しているため今後も期待したい。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・現在は確かに派遣依頼は増えているが、官公庁の派遣は現政権の政策で予算等削減対象にもなる可能性があり、今後の見通しがはっきりしない。また民間も同じ様に様子見のところがある。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・求人数の増加以上に求職者数の増加が上回っており、不景気感が顕著になっている。
		学校 [ 専門学校 ]（就職担当）	・県内外の求人数は年明けに少し回復傾向にあったものの、新年度に入ってから新卒向け求人数が減少し、景気回復には程遠い状況である。
		学校 [ 大学 ]（就職担当）	・求人票そのものは前年同様送られてくるが、今後県内大手企業の採用が絞り込まれる可能性がある。
悪くなる	-	-	